

いわき湯本病院

看護師／井川 奈津美

功 績 皮膚排泄ケア認定看護師として、褥瘡発生患者の減少および改善に多大な貢献をしてきました。院外でもその卓越した専門知識を生かし、いわき市内の「いわき褥瘡ネットワーク」の役員として活動しています。さらに今年度は6月に福島県で行われた日本褥瘡学会東北地方会学術集会の学会で運営委員として活動し、地域医療の向上に寄与しています。また、講演依頼も多数寄せられており、2025年2月には、いわき市内の「褥瘡セミナー」で講師として研修会を予定されています。院内、院外を含め地域医療への貢献をさらに深めています。

推 薦 者 看護部長／ 布施 由美

推 薦 理 由 褥瘡対策委員会でのリーダーシップと院内外での活動により、患者さんのケアの質向上と地域医療の発展に大きく貢献しています。彼女の取り組みは当院の信頼性を高め、地域との連携強化にもつながっています。以上の功績から、理事長賞に推薦いたします。

内 容

褥瘡対策委員会の中心人物として、褥瘡発生患者の減少および改善に向けて多大な努力を払っています。毎月の委員会では詳細な報告と具体的な改善策を提案し、患者様のケアの質を向上させるために積極的に取り組んでいます。彼女の指導の下で、スタッフへの継続的な教育とトレーニングが実施され、褥瘡予防の意識が院内全体で高まっています。新しい予防技術の導入や適切な体位変換の実践方法、皮膚のケアに関する最新情報を共有することで、褥瘡発生率を著しく低減させました。

また、患者さんの状態を日々観察し、早期発見・早期対応を徹底することで、褥瘡の重症化を防ぐことができます。個々の患者さんのニーズに合わせたカスタマイズケアを重視し、患者さんとそのご家族からも高い評価を受けています。これにより、患者さんの生活の質が向上し、医療従事者としての信頼も深まっています。

院外においても、活躍は顕著です。彼女は日本褥瘡学会東北地方会学術集会が福島県で行われた際に、運営委員として活動し、最新の医療情報を収集・共有することで地域医療の発展に貢献しています。学会では、他の医療機関との情報交換や共同研究を推進し、地域全体の医療水準の向上を目指しています。彼女の活動は、当院の名前を広く知らしめると同時に、地域医療ネットワークの強化にもつながっています。

さらに、講演依頼も多数寄せられており、2025年2月には地域の医療従事者向けに講演を行う予定です。この講演では、褥瘡予防とケアに関する最新の知見や実践的な方法を紹介し、他の医療従事者のスキル向上に寄与することが期待されています。彼女の講演は、参加者にとって非常に有益であり、地域医療の質を高める重要な機会となります。